

しょうらいのゆめ



私のしょうらいのゆめは葉ざいしになることです。

わたしのお父さんは、葉ざいしです。いつもお父さんを見てみると、がんばっているなと思います。葉の勉強はたいへんだと思います。だけど、かん者さんが少しでも元氣になれたらいいなと思います。

わたしも葉ざいしになってかん者さんが元氣になる手助けをしたいと思います。

ゆめがかなうよう、今から一生けんめい勉強をがんばりたいです。

将来の夢

future dream

逆井山小学校 4年
飯田くるみさん



ばんどう文芸

短歌

夜を徹し新茶づくりし古き良き日々のたちくる新芽伸びたり

【評】 古矢家は岩井でも有数の茶工場を営んでいた。産業の変遷と人生の絡み合いが端的に表現されている。

「古き良き」が思い深い。

菜園の菜種をしぼり節電に週の一度のランプの夕餉
芎割れて石榴の花の咲くが見ゆ「万緑叢中紅一点」に
麦秋の真ん中走るミニ鉄道あと追いかける小さな燕
植え田の上風転びいる遠くまでさざ波穏し人影もなく
念願の法律事務所開く孫二十代にて意気込み強し
一枚の誕生カードに記されしヘルパーの思い心にしむる
メロディーは今日の元氣の源か隣の町より朝々聞こゆ
花柄の形見のブラウス着たる日は終日亡母と共にいる氣す

俳句

でで虫やあくせくとして人の世は

【評】 ゆっくりとかたつむりに心を寄せている作者。あくせくとした現代社会とかたつむり、何の関連も共通性もないがこの諧謔が一句を成したともいえる。

輝いて母の遺愛のさつき咲く
電線に並ぶ燕よ明日は何処
新緑の風に道あり遠筑波
桴拊ふ祭囃子にうるみけり
緑匂ふ雨後の日差にある力
更衣してかんがえを新たにす
雨あとの沼を自在の夏燕
大粒のそら豆夕餉にぎやかに
軒下にしあはせはこぶ夏燕
恙なき一家の笑顔柿の花
麦の穂のそなたにゆれて何思ふ

※6月に掲載させていただきました「平田はつみ」さんは「平田とみい」さんの誤りでした。訂正してお詫言申し上げます。

長	長	長	沓	菅	矢	生	岩	長	借	生
須	須	須	掛	谷	作	子	井	須	宿	子
倉持	吉澤	平田	木村	中山	島田	米島	鈴木	中川	吉沢	木村
春子	ちか	徳三	民子	みね	よね	欣司	幸一	達男	とみ江	歌子

林 秀峰 選

今井 清 選

短歌・俳句の作品を募集します！

皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。

選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864
俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩 井4633-1 ☎0297(35)1230